

第685回「医療」編集会議議事録

日時 平成19年9月21日 14:30-16:30
場所 東京 松本楼

◎出席者

湯浅, 岩本, 菊池, 岡田, 榛葉, 泰地, 角田,
白井 各委員
大西, 菊地, 北村
日下 (日本医学広告社)
坂蓋, 久本 (第一資料印刷)

- 1) 第684回の編集会議議事録を確認し, これを承認した。
- 2) 医療第61巻10号の仮綴誌の確認を行い, 一部訂正を行った。
- 3) 編集室より9月21日現在の原稿収集状況の報告があった。原稿の保有数は51編(総説0編, 原著0編, 報告2編, 特集20編, シンポジウム12編, 未分類17編)である。今回は7編の投稿があった。

- 4) 原著2編, 報告1編, 特集16編, シンポジウム13編, 未分類14編の査読結果の審査を行い, 別紙の通り13編を受理することとした。
- 5) 医療第61巻11, 12号の掲載内容の審議を行い, 一部変更のうえ承認された。
- 6) 第40回塩田賞の審査結果につき討議を行い, 上位2編の米倉論文と井原論文で決定した。
- 7) 投稿規定の改訂につき討議を行った。本来は定款から変更していく必要があるが, まず投稿規定を現状にあわせ改訂していくことが了承された。委員長案と現在の投稿規定を対比して, 各委員の意見を求めることで了解された。
- 8) 看護の新コーナーについて説明があった。
- 9) 次回図説シリーズとして「感覚器疾患の最新の診断と治療」を採用することが承認された。
- 10) 「日本発世界のくすり」の原稿につき, 別冊を販売する案が示された。製薬会社とも協議することが了承された。販売ルートをどうするかが課題である。
- 11) 触法病棟についてのシリーズを検討することが提案された。

本誌に関するご意見, ご希望がありましたら編集室までご連絡下さい。

11号掲載予定目次

エディトリアル: いま, 重症心身障害医療を考える	小林 信や
障害者自立支援法と重症心身障害児施設	山本 圭子
重症心身障害 SMID (severe motor and intellectual disabilities)	
ネットワーク・システムの役割と有用性	佐々木 柁行
介護の質向上を目指した療養介助職導入	藤岡 美代子
重症心身障害医療に求められる主治医像 —医師の専門性・業務内容から—	石田 修一
重症心身障害児(者)施設での卒後臨床研修の意義	平松 公三郎
これからの療育指導室の役割	澁谷 博
これからの重症心身障害医療 —国立病院機構重症児病棟の展望—	宮野前 健
個別支援計画としてのリハビリテーションをどう取り入れるか	羽島 厚裕
障害者自立支援法 —家族からの意見—	稲場 純子

■ 図 説

リハビリテーション技術シリーズ ⑪

重症心身障害児(者)への援助技術……………松本規男 ほか

■ 日本発☆世界のくすり ⑪

ラジカット®研究開発物語

■ 会 報

図書紹介, 編集余滴, 編集会議議事録

バックナンバーは1冊 850円で購入可能です。発行所までお問合わせ下さい。